

平成25年行政事業レビューシート (内閣府)

<b>事業名</b>	リスクコミュニケーション実施経費		<b>担当部局</b>	食品安全委員会事務局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成15年度		<b>担当課室</b>	情報・勧告広報課		植木 隆 情報・勧告広報課長		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	68 食品安全の確保に必要な総合的施策の推進 (政策15-施策)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	食品安全基本法(平成15年5月23日法律第48号)第23条第1項第7号		<b>関係する計画、通知等</b>	食品安全委員会運営計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	食品安全委員会が行う食品健康影響評価の内容等に対する理解を深めることにより、食品安全に関する関係者相互間におけるリスクコミュニケーションを促進することを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	国民が高い関心を持っている食品の安全に関わる事項等に関する、消費者庁、厚生労働省、農林水産省等と連携しつつ行う関係者間での情報共有及び意見交換並びに正確な情報の周知等を目的とするホームページ、メールマガジン、パンフレット、季刊誌等を通じた情報発信等の食品安全の確保に必要な総合的施策を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	33	24	26	27	36	
		繰越し等	0	0	0			
		計	0	0	0			
	執行額	33	24	26	27	36		
	執行率(%)	24	73%	22	94%	16	61%	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	食品健康影響評価の内容に関する意見交換会への参加者に対するアンケート調査において、「内容について理解度が増進した者」の割合	成果実績	%	86.1%	80.7%	76.8%	80.0%	
		達成度	%	143.5%	134.5%	96.0%		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	食品健康影響評価の内容に関する意見交換会の開催	活動実績 (当初見込み)		27	43 (20)	52 (25)	— (24)	
		算出根拠	258,391(円/回)    意見交換会開催費用計(13,436,339円)÷開催回数(52回)					
<b>平成25・26年度予算内訳</b>	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	委員手当	0.3	0.3	「新しい日本のための優先課題推進枠」16				
	諸謝金	0.4	0.8					
	職員旅費	3	2					
	委員等旅費	3	4					
	外国人招へい旅費	0	1					
	庁費	20	28					
	計	27	36					

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、国が行うべきリスク評価等に国民の意見を反映し、その透明性・公正性を確保するため、食品健康影響評価(リスク評価)等について関係者相互間の情報及び意見の交換(リスクコミュニケーション)を企画・実施している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業における請負業者の選定については、一般競争入札により決定し、競争性の確保に努めた。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業の実施に際しては、リスク管理機関との共催による意見交換会の開催、出張時における割引航空運賃、パック商品等の活用等、適正な執行に努めるとともに、予算の効率的執行を図った。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	食品健康影響評価の内容に関する意見交換会への参加者に対するアンケート調査において、「内容について理解が増進した者」の割合について、目標値(80%)には若干及ばなかったものの、ほぼ目標値に近い成果を得ることができた。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	食品安全委員会は、リスク評価機関として、リスク管理機関である厚生労働省、消費者庁等の関係行政機関と密接に連携して意見交換会の開催等のリスクコミュニケーションを実施しているところであり、平成24年度においては、食品中の放射性物質対策に関する説明会をリスク管理機関との共催により開催した。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	0014	リスクコミュニケーション等の推進に必要な経費	消費者庁		
	新25-0002	食品と放射性物質に関するリスクコミュニケーションに必要な経費	復興庁／消費者庁		
点検結果	本事業においては、一般競争入札(総合評価落札方式、最低価格方式)により請負業者の選定を行い、競争性の確保と予算の効率的な執行を図っている。				
	また、平成24年度からは、従来の意見交換会に加え、一般市民に対して食品安全に関する情報を伝達する機会が多い地域の専門家を対象とした意見交換会を実施することにより、一般市民の食品安全委員会のリスク評価を知る機会をより一層増やすとともに、地域の専門家から一般市民の意見を収集し、より効率的・効果的な意見交換を行うことにより、リスクコミュニケーションの強化を図った。				
点検結果	意見交換会の参加者に対するアンケート調査の実施等により、リスクコミュニケーションの成果、課題等を把握しつつ、リスクコミュニケーションの実施手法の改善に努めているところであるが、より効率的、効果的にリスクコミュニケーションを実施していくため、今後、リスクコミュニケーション戦略の策定等を行うこととしている。				
	なお、平成24年度においては、 ・放射性物質、BSE、食品添加物等、国民の関心が高い食品健康影響評価をテーマにした意見交換会(食品安全委員会単独のほか、地方公共団体、消費者団体との共催) ・食品中の放射性物質対策に関する説明会(4府省(厚生労働省、農林水産省、消費者庁、食品安全委員会)による共催) ・ジュニア食品安全ゼミナール(地方公共団体との共催)等 全国各地で計52回開催し、参加者に対するアンケートを行ったところ、「内容について理解度が増進した者」の割合が76.8%との回答であり、目標値(80%)には若干及ばなかったものの、ほぼ目標値に近い成果を得ることができた。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	引き続き、一般競争入札による業者選定を行うなど、契約における競争性の確保や適切な進捗管理に努めていく。行政事業レビュー推進チームの所見等を踏まえ、予算の効率的執行に留意しつつ、事業内容の見直しを図り、諸謝金、旅費、庁費等の経費を削減した。				
備考					
事業に関連するURLについて 【意見交換会関係】 <a href="http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki.html">http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki.html</a> 【メールマガジン】 <a href="http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e_new_mailmagazine.html">http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e_new_mailmagazine.html</a> 【食品安全委員会パンフレット】 <a href="http://www.fsc.go.jp/sonota/pamphlet/2013/pamphlet2013_jap.html">http://www.fsc.go.jp/sonota/pamphlet/2013/pamphlet2013_jap.html</a> 【季刊誌「食品安全」】 <a href="http://www.fsc.go.jp/sonota/kikansi/kikansi.html">http://www.fsc.go.jp/sonota/kikansi/kikansi.html</a>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0143	平成23年	0145	平成24年	0144

内閣府食品安全委員会

16百万円

- ・意見交換会等の企画、実施
- ・季刊誌の企画、発行 等

【一般競争入札(単価契約)】

A. 株式会社プロセスユニーク

2.2百万円

食品の安全性に関する意見交換会運営業務

【随意契約(少額)】

B. シンソー印刷株式会社

1.5百万円

食品安全委員会パンフレット及び季刊誌「食品安全」31号～33号印刷業務

【随意契約(少額)】

C. 民間企業等(11社)

2.8百万円

「食品安全・リスク分析講座」用スライドコンテンツの作成  
BSEに係る食品健康影響評価の解説動画作成 等

その他(有識者、職員等)

9百万円

意見交換会開催に伴う有識者出席旅費、諸謝金及び職員の出張旅費、期間業務職員賃金及び社会保険料 等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて  
補足する)  
(単位:百万  
円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	<b>A.株式会社プロセスユニーク</b>			<b>D.</b>		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	食品の安全性に関する意見交換会運営業務	2.2			
	計		2.2	計		0.0
	<b>B.シンソー印刷株式会社</b>			<b>E.</b>		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	印刷製本費	食品安全委員会パンフレット及び季刊誌「食品安全」第31号～33号印刷業務	1.5			
計		1.5	計		0.0	
<b>C.株式会社ノルド</b>			<b>F.</b>			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
雑役務費	「食品安全・リスク分析講座」用スライドコンテンツの作成	0.8				
計		0.8	計		0.0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プロセスユニーク	食品の安全性に関する意見交換会運営業務	2.2	8	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シンソー印刷(株)	食品安全委員会パンフレット及び季刊誌「食の安全」第31号～33号印刷業務	1.5	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ノルド	「食品安全・リスク分析講座」用スライドコンテンツの作成	0.8	随意契約	-
2	(株)放送映画製作所	BSEに係る食品健康影響評価の解説動画作成	0.8	随意契約	-
3	朝日梱包(株)	食品安全委員会季刊誌「食品安全」梱包発送業務	0.7	随意契約	-
4	宮嶋印刷(株)	食品安全委員会季刊誌「食品安全」第30号印刷業務	0.3	随意契約	-
5	(株)神戸国際会館	「食品のリスクを考えるフォーラム(神戸市)～食品添加物の安全性を知ろう!～」の開催に係る会場借料	0.06	随意契約	-
6	(株)エスエイチアール函館	食品に関するリスクコミュニケーション「放射性物質と食品の安全性について(北海道函館)」の開催に係る会場借料	0.05	随意契約	-
7	(公財)原子力安全研究協会	図書購入(「生活環境放射線データに関する研究」ほか)	0.04	随意契約	-
8	旭川市会計管理者	食品に関するリスクコミュニケーション「放射性物質と食品の安全性について(北海道旭川)」の開催に係る会場借料	0.02	随意契約	-
9	(財)兵庫県芸術文化協会	「食品のリスクを考えるワークショップ(兵庫県)～食品と残留農薬～」の開催に係る会場借料	0.01	随意契約	-
10	NPO法人 宇土の文化を考える市民の会	「食品のリスクを考えるフォーラム(熊本県)～遺伝子組換え食品を知ろう!～」開催に係る会場借料	0.01	随意契約	-